

なりすまし詐欺師の意図を探る

いわき市立泉中学校 三年 鈴木 佳乃

「もしもし、お母さん。オレだよ、オレ。」今では知らない人はいない、オレオレ詐欺。これは特殊詐欺、いわゆるなりすまし詐欺の中でも最も代表的なものである。テレビやポスターでも被害防止の呼びかけをしているところをよく目にする。今さらそんなわかりやすい詐欺に引っかかるわけがない、と、私は思っていた。しかし、この作文をきっかけに調べてみると、なりすまし詐欺の中で最も被害件数が多かったのが、このオレオレ詐欺だった。そのうえ、こんなに呼びかけられているにもかかわらず、平成二十二年以降、被害件数は増加し続けている。これは一体どうしてなのだろうか。

その理由は、犯罪者の目線で考えてみればすぐにわかる。もし、私が犯罪者だったらどうするか。さすがに私もバカではないので、こんなにも有名になっているオレオレ詐欺を、ただ繰り返していたって誰も引っかからないことぐらい分かってる。じゃあどうすればいいのか。そんなの簡単だ。やり方を変えればいい。いきなり電話して「オレだよ、オレ。悪いんだけど金貸してくれない。」なんて言うのはバカにもほどがある。そんなのいくらなんでも引っかかるわけがない。だから、もっと「息子らしさ」を見せることが鍵だ。両親を気遣う言葉をかけたり、最近風邪気味だ、などと両親の心配をあおるためだけに電話をかける。その後しばらくしてから、「会社のお金を紛失してしまった。」など、本題を切り出す電話をかける。これならどうだろう。一度息子だと思い込んでいるので、次の電話に対する抵抗が減ってしまうのではないだろうか。実際に、オレオレ詐欺はこのように巧妙化しているので、被害件数が増え続けているらしい。

つまり、犯罪者達は私たちがよりだまされやすいように、私たち目線で新たな詐欺の手法をつねに考案し続けている。それなのに私たちは、被害者側か客観的に見た第三者の視点でしか、この問題を考えようとしない。そのままでは、本当にこの犯罪からみんなを守ることはできないと私は思う。したがって、私たちも犯罪者の視点で物事を考え、彼らの意図を理解し、その罠を逆手にとって対策を考えなければ、いつまでたっても私たちは、彼らにだまされ続けてしまうのではないだろうか。

以上が、私がこの作文を書くことをきっかけに、なりすまし詐欺について考えた結果である。つまり、この問題を解決し、新たな被害を防止するためには、犯罪者の視点で考え、彼らの意図を理解し、その罠を逆手にとって対策を考えることが必要であると、私は考える。

また、家族の間でひんぱんに連絡を取り合うことも、被害防止につながるそうなので、祖父母と連絡をよく取るようにしていきたい。